

第2回高山駅周辺地区まちづくり協議会

公共空間検討部会

日時 平成18年2月23日 (13:30~14:40)

場所 高山市役所 行政委員会室(3階)

1. 開会
2. 高山市基盤整備部長挨拶
3. 委嘱状交付
4. 自己紹介
5. 部会長選出
6. 部会長挨拶
7. 組織の説明
8. 報告事項
 - 平成17年度事業内容
 - ・ 工事協定 JRアンダーパス
 - ・ 工事関係 ポッポ公園整備
 - ・ 補償関係 建物移転補償の状況
 - ・ その他 景観ガイドラインの策定(別紙パンフレット)
9. 審議事項
 - 駅舎・自由通路及び駅前広場計画について
 - ・ 今後の進め方
10. 閉会

組織の説明・報告事項についての質疑応答

委員：（公共空間部会）委員の職務内容について

駅舎等については規制（決まっている部分）等があると思うが、それらの内容についても委員会で述べた意見が取り上げられて行くのか。

（委員会で述べた意見が取り上げられる可能性について）

事務局：この部会でお聞かせ頂いた意見については、まちづくり協議会へ反映するようにしたい。また、部会の進め方としては、事務局が作ったものに対して皆さんの意見を聞かせていただくような形になると思います。

特に公共空間検討部会では、公共施設（区画整理事業でメインとなる事業）について検討を行いますので、皆さんよりたくさんの意見をお聞かせ願いたい。

委員：公共空間検討部会にJRさんも参加して頂いた方が良いと思いますが。

（JRさんには委員をお願いしましたか）

事務局：JRでは地元の協議会等には参加しない方針である。

しかし、もう一度JRに対し委員になって頂くようお願いをします。

審議事項についての質疑応答

委員：駅舎は市で造るのか。

事務局：市で造る予定です。

（全国的に他市の例をみても自治体で建設している。）

委員：市の総合計画では地平駅となっていたと思うが、駅舎タイプについても検討を行うのか。

事務局：検討の中で、駅舎タイプから考え直す必要があれば、そこから考えてゆく。

委員：駅舎を市で建設するのであれば、駅舎内にデパート等を入れて負担金を取ったらどうか。（民間の資金を入れる。）

事務局：民間を入れることまでは考えていない。

委員：駅舎を検討するためには、もう少し全体で考える必要がある。

どんなイメージで行くか、

まちづくりのイメージにより駅舎のイメージが決まるのではないか、機能面の検討だけではいけない。

駅舎のイメージについても、江戸時代的とか近代적とかあると思う。

駅周辺だけでなく上二之町や上三之町まで考えて検討する必要があると思う。

事務局： 高山らしさと言うイメージについては、古い街並みと言うようなことも言われておりますが……

駅周辺については景観ガイドラインがあります。

また、駅舎の中身については防火地域でもありますのでそれに対応できるような構造になってくると思います。

デザインにつきましては、今後高山らしさを検討しやって行きたい。

委員： 今度の検討部会で全体的な景観の位置づけを行い進めてほしい。

委員： 委員のみなさんは高山の顔である駅前をこれだけの委員だけで決めていいのかとの不安もあると思います。

高山らしさについては、企画課と共同で市民にアンケートをとるようにはできないか。

事務局： 検討してみます。

委員： 駅について検討するにあたり、立場が大きく2つに分かれると思う。

1つは利益団体(旅館ホテル協同組合のような)であり

1つは純粋に駅舎のデザインについて考える団体

(この二つは立場が違う。)

利益団体等は求めるところが違う。

このような団体とも話をしてゆかなくてはいけない。デザインの話ばかりで駅舎を考えることはできない。

事務局： わかりました。

委員： 駅を中心に商売をしている人は、その権利が無くなるのか？

(構内営業権)

今まで、駅(駅前広場)は秩序ある状況で管理されている。駅前広場に誰でも入れるようになりその秩序が無くなることは問題である。

(営業がやりやすいようにしてほしい)

事務局： それらの問題についても検討して行きたい。

※ 今後、いろいろ意見を頂きたいのでよろしく申し上げます。